

「歩く県道・銀山街道」

地域づくりニュース H27 Vol. 2

交通不能区間となっている旧街道を「歩く県道」として整備・利活用し、地域の活性化に繋げる取り組みとして、銀山街道の美女峠と吉尾峠において道普請を行いました。平成24年度から銀山街道の整備に取り組み、毎年継続して補修を行っております。峠道を訪れた人が、景色を楽しみ、歴史街道としての風情を感じながら歩くことができる安全な道にするために、参加者全員が協力して作業を行いました。

美女峠の実証実験 ●実施日 平成27年9月15日（火）

●参加者 間方地区住民、銀山街道を活用して地域を元気にする会、東北芸術工科大学の学生・教員、震災復興応援のための他県からの派遣職員、三島町・昭和村・福島県の職員 合計42名

餅ヶ沢の木橋近くの坂道は、年間を通して水はけが悪く歩きにくいので、排水効果を高めるため、山側の土側溝や、沢からの水や土側溝の水を集めて谷に流すための横断開渠工を施工しました。この道普請には、震災復興応援のため他県より派遣された7名も参加しました。

土側溝の掘削作業



ぬかるみで足場の悪い中、延長100m以上の土側溝を掘削しました。

横断開渠工の施工



杭を打設し、丸太を番線で固定して、側溝の木枠を作りました。

施工後の現地の様子



排水能力が向上し、来春にはぬかるみの改善が期待できます。

吉尾峠の実証実験 ●実施日 平成27年9月25日（金）・26日（土）

●参加者 銀山街道を活用して地域を元気にする会、東北芸術工科大学の学生・教員、昭和村・只見町・福島県の職員 2日間の延べ人数 47名

古くて危険な状態となった丸太橋や梯子を撤去し、丸太を利用した橋や階段工を施工することで、沢を安全に渡れるようにしました。また道幅が狭く歩きにくい箇所には、新たに片棧橋や丸太橋を施工し、歩きやすくしました。

沢部の横断を容易にするために階段を施工



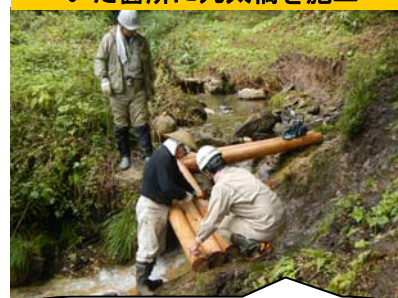
岩盤で杭を垂直に打設出来なかったため、水平に杭を打って丸太を設置し、安定させました。

沢水による浸食で、道幅が狭くなった箇所に片棧橋を施工



沢側に支柱を建て、横木を渡した上に丸太を設置し、鉄線で固定しました。

ロープにつかまりながら歩いてきた箇所に丸太橋を施工



3本の丸太を組んで岩に設置。沢の中を木道のように歩けます。

今年度の道普請も、掘削や杭の打設、資材の運搬等作業を全て人力で行いました。延長の長い土側溝を掘削するのに、参加者全員で一体感をもって作業に取り組みました。階段や丸太橋を安定させるために、これまでの経験を活かし今までになかった臨機応変な工法で対処しました。これからもみんなで力を合わせ、より多くの人に活用していただける道となるように、継続していきたいと思っております。

第2回歩く県道（銀山街道）地域づくり検討会の開催概要

平成27年11月16日（月）15時～17時30分 福島県会津若松合同庁舎3階 地域連携室にて開催

●参加者● 銀山街道を活用して地域を元気にする会、東北芸術工科大学の学生・教員、
会津森林管理署、会津若松建設事務所 合計18名

●話し合ったこと●

- 今年度の道普請を振り返り、意見交換を行いました。
- 銀山街道沿線の地元のみなさんを対象に、「歩く県道」の取り組みについて説明することを目的として開催した地域懇談会の結果や、「新日本歩く道紀行100選シリーズ」の選考結果について報告しました。
- 今年度実施した道普請ツーリズムと銀山街道ロングトレイルについて、アンケート調査の結果を基にした報告がありました。



検討会での主な意見をご紹介します

今年度の道普請に関すること

- ◆ 太くて重い丸太を、遠い施工箇所まで運搬するのが大変だった。関係部署や地権者と連携をとり、施工箇所から近い場所の木を伐り出して利用できるようなると良い。
- ◆ 土側溝を施工し山から流れてくる水や路面水をきちんと排水することができた。みんなで力を合わせて施工することができて良かった。
- ◆ 施工したことで、ウォーキング大会の時には餅ヶ沢周辺のぬかるみが改善されていた。PRしても大丈夫な道になって良かった。
- ◆ 岩盤に丸太橋を架設した箇所は、増水時に流されないように着脱可能なワイヤーで岩に固定するなどの対策を取ったほうが良い。
- ◆ 草刈をまめに行い、年間を通して利用できる道にすることで峠道に対する関心も深まり、道普請への参加者も増えると思う。

丸太や資材の運搬作業



沢をいくつも越え、繰り返し運搬するのは重労働です！

懇談会の様子（久保田地区）



歩く県道と地域で行っている他の取り組みとの連携について考えたい。

わだち掘れのひどい箇所



勾配の急な箇所が流水により深く掘れているため、対策が必要です。

今年度の取り組みと来年度のスケジュールについて

- ◆ 銀山街道沿線の4つの地区で地域懇談会を開催し、これまでの「歩く県道」の取り組みについて説明し意見交換を行った。今後も常に地元とコミュニケーションをとり、理解と協力を得ながら活動を継続していく必要がある。定期的で開催したほうが良い。
- ◆ 「新日本歩く道紀行100選シリーズ」に選定されたことを契機として、受け入れ体制をしっかりと作る必要がある。
- ◆ 銀山峠は、県道を改良した起点部分の下方で旧街道の路肩が崩落している箇所を整備したい。美女峠はわだち掘れのひどい箇所や、路肩にクラックが入っている箇所を改善したい。吉尾峠は、ぬかるみのひどい箇所に土側溝を施工して水はけを良くしたり、平場を利用して休憩できるスペースを作りたい。
- ◆ 3峠ともに雪解け後に現地調査を実施し、施工箇所や施工方法等について検討を行うこととしたい。

銀山街道ロングトレイルについて

- ◆ アンケート調査の結果で、住民参加型の道普請を「良い企画」と評価した人が100%だった。また、整備と活用方法・取り組みの姿勢に感動したという感想も寄せられた。一方、トイレや駐車場の整備等、課題も多くあげられているので、分析を行い今後の取り組みに活かしたい。

今年度第3回目の検討会を3月上旬に開催する予定です。銀山街道の活用を進めていくには、道の補修作業以外にも、案内看板の設置やパンフレットの作成等、多くの課題があります。より良い取り組みにしていけるために、多くの方からご意見をいただきたいと思っております。検討会への参加をお待ちしております。

ご意見・お問い合わせは



福島県会津若松建設事務所 企画調査課

TEL 0242-29-5455

FAX 0242-29-5459